

高齢者施設で実施する

“対話型アート鑑賞プログラム” 参加施設募集

対話型アート鑑賞プログラムとは？

グループで美術作品を見て、進行役の質問に答えながら、参加者が感じたことや思ったことを自由に発言し共有する鑑賞プログラムです。

うつの軽減や短期単語再生能力の向上の他、BPSDの緩和にも効果があります。普段お話しにならない方も回を重ねる中で会話されるようになります。認知障害のある方もそうでない方と一緒に無理なくご参加頂ける楽しいプログラムです。

特徴

- ・誰もが一緒に楽しめる
- ・本音で話せる
- ・自由で対等なコミュニケーション
- ・違いが個性として受け入れられる
- ・知って視野が広がる

アートの知識は必要ありません

「どんなものが描かれていますか？」

「どんな音が聞こえましたか？」

「どんな気持ちになりましたか？」



プログラムの流れ

(※標準的なケース)

- 1 プログラムの説明など 5分
- 2 1作品目鑑賞 15分
- 3 2作品目鑑賞 15分
- 4 振り返り(感想の共有) 5分

- 1施設で2グループに実施(1グループ高齢者5~6名)
- 1回あたりコーディネーター2名(進行役/サポート役)で実施
- 1回約40分×連続3回
実施間隔の例:(週1回で連続3週)×2グループ
※月1回で連続する3ヶ月位の間隔でも可。
- 実施期間:10月から3月まで

募集施設 3施設(入所系)

応募条件 次の事項が可能な施設

- ・ 場所(会議室等)、設備(画像を投影するプロジェクター等)の一時利用
- ・ プログラム実施中の見守り
- ・ プログラム実施前後のアンケート等、効果測定への協力
- ・ 報告書への写真掲載の同意(職員、利用者)の事前取得 ※個人が特定されないように撮影します
- ・ 参加者の選定

体験者の声

被介護者と介護者が同じ空間で同時に喜びを得られます。介護者である自分は、物陰に隠れて観察するような冷たい感覚から自由になりました。生活にハピネスを持ち帰り、色々考え、会話するのが楽しい。改めて夫が好きになりました。(60代女性)

認知症の90代の母との参加でした。今の季節の食に関する作品で、母もたくさんお話ができたと思います。母は最近家族以外の方と会話する機会が減ってしまったので、絵以外のことをお話する時も楽しそうにしていました。絵を通じて昔の経験を思い出すような質問も娘としては有難かったです。ありがとうございました！(60代女性)

今回の2枚は、どちらも色彩と光と影のコントラスト&バランスが素晴らしい作品だと思いました。還暦になっても自分の審美眼を深めることができる嬉しさを満喫しました。(60代男性)

最初は少し緊張しましたが、だんだん楽しく、気分も盛り上がり話せるようになりました。何度か参加し、気心が知れると話しやすくなるし、初めての人と出会えることもうれしく、毎回楽しみです。一人ではなく、みんなで見るところが楽しいです。考えを否定される事がなくて、心に引っかかることなく、じゃまされない自由さと安心感があります。とても居心地がよいと感じます。(当事者、60代男性)

私自身も楽しく参加していますが、主人が明るい表情で自分の感じた事を発言する様子や、楽しそうな姿を見ることは、とてもうれしいです。二人で美術館に行くこともありますが、鑑賞する時に会話はできません。後で話そうと思っても、主人は覚えていない事もあるため、見て、感じたその時に話せて、主人が思った事を言葉として聞ける時間はとても貴重です。感情が動かされるためか、昔の記憶がよみがえってきたのかと思うような発言をしたり、主人にこういう感性があるのかと発見できたりすることも、嬉しく思う瞬間です。また、楽しい時間を過ごすことで意欲的にもなり、家族以外の人ともコミュニケーションを図ることができ、交流が広がりました。(60代女性)

プログラム実施者

一般社団法人 アーツアライブ

本事業は横浜市が一般社団法人 アーツアライブに委託して実施します。

申込方法

QRコードからお申込みください➡

※応募多数の場合は、横浜市が選定を行います。

申込期限

9月22日(金)

23時まで

お問合せ

横浜市 健康福祉局 高齢施設課 施設運営係
施設内高齢者の健康づくり事業担当

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

電話：045-671-3923 ※ご不明点はお気軽にお問合せください。



一般社団法人 アーツアライブについて

アーツ(美術・音楽・ダンスなど)の力を通し、すべての人に日常では味わえない新たな感動を届け、創造する喜びと生きる活力を得てもらうこと、つまり人と社会を元気づけアライブ(生き活き!)させることを目的として活動している団体です。



主な実績： 補助・受託事業 令和5年度 内閣官房孤独・孤立防止対策モデル事業採択/令和3年度 文化庁委託 障害者等による文化芸術活動推進事業(文化芸術による共生社会の推進を含む)/令和3年度 港区介護予防施策受託/平成25年度 経済産業省地域ヘルスケア産業創出推進補助事業採択「創造的アートによる予防医療と生きがい創出事業」他

美術館(認知症当事者対象事業) 国立西洋美術館/東京ステーションギャラリー/山梨県立美術館/熊本市現代美術館他

介護施設・病院 仙台富沢病院/ヒルデモア ヴィレヅ3/よみうりランド慶友病院/桐ヶ丘やまぶき荘、サンサン赤坂他